

ユズの有機防除体系による高品質生産の実証

南予地方局地域農業育成室鬼北農業指導班

1 背景および目的

鬼北地域のユズは有機 JAS 法に定められた肥料・農薬を使用する特別栽培が行われており、効果的な病虫害防除対策の普及が課題となっている。そこで、ユズの有機栽培において使用可能な農薬を用いた体系防除による主要病虫害の防除効果および品質向上効果を実証した。

2 実施期間および実施場所

期間：平成 30 年 2 月 26 日～平成 30 年 11 月 5 日

場所：鬼北農業指導班 ユズ栽培圃場

3 方法

供試樹：23 年生ユズ樹

試験区の概要：試験区と対照区を設置し、試験区では表 1 の通り防除を実施した。対照区は無防除とした。

調査方法：11 月 5 日に 1 区 50 果 3 反復で任意に収穫し、黒点病およびミカンサビダニの被害化率、被害指数を調査した。加えて、JA えひめ南のユズ出荷規格に基づいて等級の分類を行った。

表 1) 試験区における薬剤散布概況

散布日	薬剤名	倍率
2/26	マシン油乳剤 97%	80 倍
3/26	IC ボルドー66D	40 倍
4/9	IC ボルドー66D	80 倍
6/1	IC ボルドー66D	80 倍
6/14	コロマイト水和剤	3,000 倍
7/4	IC ボルドー66D	80 倍
7/26	コロマイト水和剤	2,000 倍

4 結果

黒点病の発病果率および発病度は、ともに試験区で低かった。

等級比率は、試験区において「秀」から「A」までの割合が増加し、「B」の割合が減少した。

表 2) 薬剤防除による病害虫の被害果率と被害度

	黒点病		ミカンサビダニ	
	発病果率(%)	発病度	被害果率(%)	被害度
試験区	36.7	5.6	22.7	3.1
対照区	94.1	35.8	7.8	2.0

※黒点病の発病度は、発病程度を無、少、中、多、甚に分類し、 $(少 \times 1 + 中 \times 3 + 多 \times 5 + 甚 \times 7) \times 100 / (全果数 \times 7)$ により算出。

※ミカンサビダニの被害度は、被害程度を無、少、中、多に分類し、 $(少 \times 1 + 中 \times 5 + 多 \times 10) \times 100 / (全果数 \times 10)$ により算出。

表 3) 薬剤防除による等級比率の割合

	等級比率(%)				
	秀	優	良	A	B
試験区	8	15	28	29	20
対照区	0	4	17	24	55

参考)

試験区における農薬費は 11,381 円であった。

※薬剤散布量は 500L/10a とする。

5 考察

有機ユズ栽培における外観品質低下の主要因である黒点病の被害は、有機銅剤による防除で一定程度低減させることができる。

ミカンサビダニについては、試験区で対照区に比べて被害が増加した。コロマイト水和剤の適切な散布時期や他薬剤と組み合わせた防除体系の実証など検討が必要である。

試験区では、等級「A」以上の比率が向上するため、収益は向上するが、労働時間は長くなる。